

ごあいさつ



トーナメントディレクター

高橋 孝由

テルウェル東日本



株式会社ダンロップスポーツマーケティング
代表取締役社長

木越 浩文

前年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等により本大会を中止しましたが、今年は東京都テニス協会事務局のご苦勞があり、第42回目を開催できる運びとなりDUNLOP社会人テニス選手権・東京大会のご挨拶を申し上げます。

大会開催にあたっては、大会参加者・関係者の健康・安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限排除しなければなりませんので、万全の対策を講じて開催します。皆さまのご協力も併せてよろしくお願いいたします。

今年は延期された東京オリンピック・パラリンピックが有明テニスの森会場で開催されます。

2020年東京オリンピックでのテニス競技で、日本男子で活躍が期待されるのは錦織圭選手だけではない。錦織選手に続く日本男子選手たちが、東京での出場の機会を狙っています。

オリンピック出場選手の決め方は、世界ランキングに基づいて行われ、ローランギャロス（全仏）直後、6月末のランキングによって男子は決まります。

競技は64ドローで行われるが、世界ランキング上位の56人がストレートインをし、ITF国際テニス連盟の推薦枠が8人設けられています。また、1カ国につき4人までの出場という枠もあり出場する選手の活躍を期待したいと思います。

そして今年も実業団大会、最大規模の個人戦である夏のトーナメントDUNLOP社会人テニス選手権も大いに盛り上げていただきたいと思ひます。

本大会は男女ともクラス別及び年齢別で実施し、Aクラスを除き最初の試合で敗れても、敗者戦<サバイバル戦>を行うことができることにより、最低2試合は戦える大会内容となっております。

なお、今年度も年齢別男子は、45歳以上と50歳以上（単のみ）の部に分けて実施、また今年度も引き続き女子40歳以上のシングルスとダブルスも実施します。

来る大会期間中は猛暑が予想されておりますが、優勝を目指して熱い戦いが展開されることを期待すると共に、ラストショットまで、集中力を切らさずにご自身の練習成果を存分に発揮していただきたいと思ひます。

今回も1,000名近くの参加者に満足いくような大会運営を目指します。少人数で運営しますので、どうぞ選手の皆様のご協力をお願いいたします。

最後に本大会のご協賛いただく、株式会社ダンロップスポーツマーケティング様に対し御礼申し上げますと共に、出場選手にとって実りある大会となりますようお祈りいたします。

はじめに、この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日でも早いご回復を心からお祈り申し上げます。また、日々感染拡大防止や治療などにご尽力されている医療従事者の皆様に感謝申し上げます。

2020年第41回大会はコロナ感染症のため中止を余儀なくされたことと存じます。

こうして2年ぶりに第42回DUNLOP社会人テニス選手権が一般社団法人東京都テニス協会の主催のもと盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

本大会は、各企業で活躍される社会人の方々のテニスのレベルアップと、お互いの交流をより一層深めることを目的として、一般社団法人東京都テニス協会実業団委員会の皆様が創設された大会と承っております。

その一端を担う本大会では、種目も男子・女子・ベテランと、それぞれ多くのクラス分けがなされており、選手の実力に合わせてエントリーができ、Aクラス以外では敗者戦も行われ、最低2試合は戦えることで、参加者も延べ1,000名近くのビッグな大会となり、社会人テニスの発展に多大な貢献をしておられます。

これもひとえに、本大会を創設された実業団委員会をはじめとする関係各位の熱意と努力の賜と確信いたします。

このような意義のある素晴らしい大会に弊社が微力ではありますが協力させていただきますことは誠に光栄と深く感謝いたします。

テニス界におきましては、今年最初のグランドスラム全豪オープンでは大坂選手が2年ぶり2度目の優勝を成し遂げ、グランドスラム通算4度目の優勝を果たし、テニスシーズン幕開けにふさわしい活躍をされたことは記憶に新しいところです。

また、今年も東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。大坂選手、錦織選手、国枝選手、上地選手のメダル獲得も期待され、テニスへの関心が高まる中、各企業、各種目の出場選手の皆様にはぜひとも、テニスの楽しさ、素晴らしさを一人でも多くの方々にお伝えいただき、テニスの仲間の輪を広げていただければ幸いです。

最後に、本大会開催に際しまして、主催者であります一般社団法人東京都テニス協会様、運営にあたられます一般社団法人東京都テニス協会実業団委員会様はじめ、多大なるご尽力をいただいております関係各位に心から敬意を表しますとともに、本大会の益々のご発展を心から祈念申し上げますご挨拶とさせていただきます。